

# 開業5周年

## 北陸新幹線「上越妙高駅」・えちごトキめき鉄道

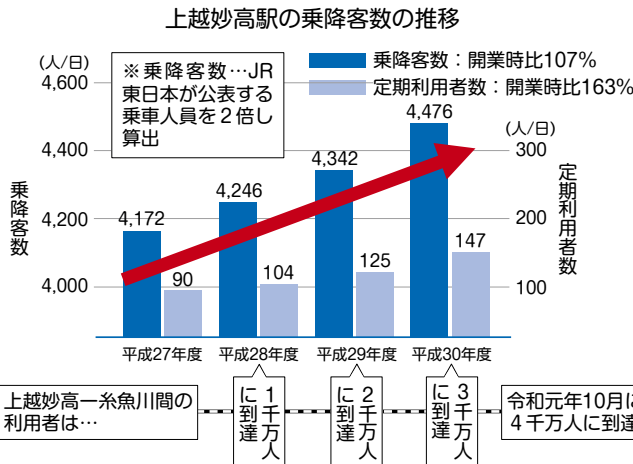
～多くの人が行き交う「交流」と「交通」の結節点～

■問合せ…交通政策課 (☎ 025-545-9207)



### 上越妙高駅の利用状況

当駅の新幹線利用者は、開業以来毎年増加しており、特に通勤・通学定期での利用者は開業以来1.6倍に増え、当市の通勤・通学圏が広がっていることが分かります。



市が行った調査から、関東方面とはビジネスでの利用が多く、関西方面からは新潟や東北方面など

へのツアーの乗換駅として利用されていることが分かりました。特に関西方面との流動は、開業前の想定にないもので、新幹線の効果の一つと考えられています。



ホテルや温浴施設、喫茶店が開業し、IT関連事業所が進出するなど利便性の増す駅周辺

### 地域の足として利用される「えちごトキめき鉄道」

北陸新幹線の開業とともに誕生した「えちごトキめき鉄道」は、新幹線駅に併設することで、乗り換えの利便性が高まり、通勤・通学を中心に多くの人に利用されています。

また、「えちごトキめきリゾート雪月花」は当駅を発着駅にしており、台湾など海外からも利用が広がります。

### 「交流」の拠点に



地元の子どもの歓迎を受ける雪月花

上越妙高駅は、上越地域を訪れる人々を迎える玄関口であるとともに、東口の「もてなしドーム」や自由通路「脇野田通り」では、市民の皆さんが主体となって多くのイベントが開催されるなど、市内外から訪れる人々をもてなす交流の拠点としての役割を果たしています。

今年度は、「野菜ふるさと市」や、上越高等学校の生徒による「ゆかたまつり」、上越教育大学の学生による「上越アカペラストーション」など、30回以上にのぼるイベントが開催されました。